

## 第1回ナショナルバイオリソースプロジェクト「メダカ」運営委員会議要旨

日時:2007年9月7日(金)14:00

場所:基礎生物学研究所 第2会議室(151号室)

出席者

運営委員

近藤寿人 高田慎治 酒泉満 長濱嘉孝 三谷啓志 山下正兼 上野直人 石川裕二  
谷口善仁 武田洋幸 堀寛

オブザーバー

野島久美恵(文部科学省) 吉原剛(NBRP 事務局長) 田中実 成瀬清

神谷良志夫(事務センター)

審議事項:

### 1 運営委員会のあり方について

1) 第2期では運営委員会委員長会議を開催する。この会議を通じて文部科学省の意見を伝達するとともに反映させる。運営委員長会議には運営委員長と共にプロジェクト担当者もオブザーバーとして出席する。

2) 運営委員会以外に担当者会議(運営委員長と事業実施担当者との会議)を運営委員会の前に開催する。

3) 第2期NBRP終了後、文部科学省のサポートは終了する予定であるので、その後も自立できる体制を、運営委員会を通じて確立する必要がある。

4) 今回の議論をふまえて運営委員会要項を作成する。

5) 活動の具体的内容については担当者会議で検討し、その結果を運営委員会に諮る。運営委員会はコミュニティーの意見を聴取すると共に活動内容についてプロジェクトの方向性を決定する。

6) バイオリソース事業を機関の事業として位置づけるため、基礎生物学研究所にメダカバイオリソース運営委員会を設置し、委員は所長が委嘱する。

### 2 運営委員会委員長選出

武田、近藤、長濱委員より山下正兼委員(北海道大学)が委員長に推薦され、協議により山下委員を第2期メダカバイオリソースプロジェクト運営委員会委員長に選出した。

### 3 平成19年度業務計画

平成19年度業務計画について石川・酒泉・成瀬より説明をおこなった。

### 4 ショッピングカート方式によるメダカ分譲依頼システムの構築

1) ショッピングカート方式によるメダカ分譲依頼システムが構築されたことが成瀬から報告された。

このシステムの $\beta$ テストの後に、現在のメールによる分譲依頼からショッピングカート方式によるメダカ分譲依頼へ移行することが確認された。

## 5 その他

- 1) 成瀬より zebrafish international resource center (ZIRC) 所長 Zoltan Varga 博士招聘について説明があった。来日は9月13日、帰国は9月17日の予定。基礎生物学研究所を訪問後、第13回小型魚類研究会においてZIRCの活動について講演をおこなう。
- 2) NBRP ゲノム情報等整備プログラムにおいて「メダカ完全長 cDNA リソースの整備」が採択された旨成瀬から報告があった。
- 3) NBRP 基盤技術整備プログラムにおいて「メダカ遺伝子機能解析汎用システムの開発」が採択された旨、田中より報告があった。
- 4) 英文プロトコール集について田中より進捗状況の説明があった。
- 5) 平成20年2月27日-29日に開催されるNIBB conferenceについて田中から説明があった。
- 6) NBRP からの孵化酵素提供を小規模範囲でテストしている旨、成瀬より説明があった。
- 7) ZIRC のパンフレット紹介が成瀬よりあった。
- 8) zebrafish mutant mapping project の紹介が成瀬よりあった。
- 9) 石川より基礎生物学研究所への近交系の寄託に関する説明があった。寄託はほぼ完了している。
- 10) 近交系の遺伝的モニタリング系を放射線医学総合研究所で開発している旨石川より報告があった。

## 6. 委員からの指摘事項

- 1) 系統の寄託方法についてわかりやすい形でホームページに掲載して欲しい。
- 2) 論文等に有用な系統が発表された場合に著者にコンタクトをとり寄託の可能性について打診するべきである。
- 3) Tilling 法で作成された系統の寄託についても検討してもらいたい。
- 4) 寄託系統の選定基準について明確化する必要がある
- 5) ホームページを充実させる必要がある。